

号外

UNN 関西学生報道連盟

共同編集

関西大学タイムス

速報、詳報は...

<http://unn-news.com>



試合終了間際、関大DF平野の劇的同点弾も実らなかった(12月20日・多摩市立陸上競技場 撮影=深江友樹)

阪南大

前半17分、25分と立て続けに失点を許した。阪南大が2失点を喫したのは今夏の総理大臣杯の決勝以来だ。だが、34分にエースFW西田主将(4年)が1点を返す。得点后ようやく阪南らしさがでたものの、引いた相手を崩すことができずに不完全燃焼で試合を終えた。「リバウンドを取れなかったのが高知大との差」と須佐監督は敗因を話した。関西王者が全国の舞台から、早くも姿を消した。【伊藤翔也】



阪南大のFW西田主将(中)は厳しいマークを受けた(12月21日・平塚競技場 伊藤翔也)

関西、初戦全滅

2008年度全日本大学サッカー選手権大会のツカレ1回戦が12月20日から21日にかけて行われた。20日には多摩市立陸上競技場で、関大は国士館に1-1で引き分けたがPK戦の末敗れた。21日、平塚競技場で阪南大は高知大に1-2で、足利市総合運動公園陸上競技場でびわこ成蹊大は0-2で福岡大にいずれも敗れた。これで関西勢は全て初戦敗退となった。

関大

国士館の5人目のキッカーがネットを揺らした瞬間、関大の選手たちは崩れ落ちていった。0-1で迎えた後半45分、DF平野(3年)がパワープレー

関西勢、1回戦の結果

関大 1-1 国士館
PK 3-5
【関大】平野(後半45分)

阪南大 1-2 高知大
【阪南大】西田(前半34分)

びわこ成蹊大 0-2 福岡大

からのこぼれ球を拾う。右足を振りぬき、同点ゴールを決めた。関大の攻撃がようやく実を結んだ。プレー。完全に流れをつかんだが、逆転弾を決めることができずに12分間戦い抜くもPK戦で涙をのんだ。「1年間やつ

てきて一番内容の良い試合だった」と島岡コーチは胸を張った。【伊藤翔也】



試合後、泣き崩れるびわこ成蹊大MF船津主将(中)(12月21日・足利市総合運動公園陸上競技場 撮影=深江友樹)

びわこ成蹊大

インカレ初出場。びわこ成蹊大の挑戦は、初戦で幕を閉じた。前半にカウンターの失点すると、試合の主導権を失った。福岡大の堅い守備の前に、単調な攻

めに終始。後半32分にDF中原(4年)が退場処分を受け、相手にPKを献上して万事休す。「ふがないサッカーしかできなかった」とMF船津主将(4年)。新たな歴史の続きは来季に持ち越しとなった。【深江友樹】